

6月は『土砂災害防止月間』です 土砂災害から身を守るために、日頃の準備を

梅雨の豪雨や台風の風・雨による災害が発生する時期となりました。毎年この時期には全国各地で豪雨による災害が発生しています。

災害から身を守るためには、日頃の備えが大変重要です。避難の時期・場所、避難経路を決めておく、また、食料品や懐中電灯、飲料水などをいつでも持ち出せるなどの準備が必要です。

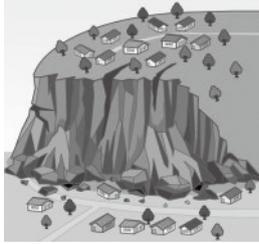
また、気象台が発表する注意報、警報などの気象情報には十分な注意を払い、災害に備えましょう。

今月号では、大雨による土砂災害から身を守るための情報をお伝えします。

▼土砂災害って「なに!」

土砂災害には「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」の三種類の現象があります。

土砂災害の3種類『がけ崩れ』・『土石流』・『地すべり』



①「がけ崩れ」
がけ崩れは、地中にしみ込んだ大量の雨のため斜面の土が緩み、突然崩れ落ちる現象です。



②「土石流」
土石流とは、大量の雨水により、土砂や石が混合して、河川・溪流などをふもとに向かって流れてくる現象です。



③「地すべり」
地すべりは、雨が地中にしみ込んだ場所から、地盤が大きなたまりのまま、ふもとに向かって動く現象をいいます。



・がけや斜面に亀裂が入る



・小石がバラバラ落ちてくる



・斜面から水が吹きだすまたは濁る

こんな前兆現象に注意!



・山鳴り、立木の裂ける音などがする



・地面にひび割れが入る



・川の水が急激に濁る
・流木が流れてくる

▼前兆現象(前ぶれ)

土砂災害が発生する際「前兆現象」(前ぶれ)があります。「いつもと違う!」「初めて見た・聞いた」異常を感じたらできるだけ早く周りの人と安全な場所に避難しましょう。

また、その際は役場、柳井土木建築事務所等にご連絡ください。

▼気象庁が発表する大雨警戒情報

◆大雨警報

激しい雨により、側溝や下水から水が溢れ、家屋への浸水、土石流やがけ崩れなどの土砂災害が発生する恐れがあります。

警報が発表されたら、十分な警戒が必要です。

◆洪水警報

大雨、長雨により、河川の増水や氾濫などにより、家屋への浸水が予想される場合に発令されます。

◆土砂災害警戒情報

大雨警報が発令され、土砂災害が発生する危険性が、特